

編集後記

本号では、2つの特集記事を企画していただくことができた。1つ目の **Insights of Society 5.0 Powered by Data** は、横幹フォーラムで報告いただいた講演の中から、健康や人間中心のまちづくりに関連する4件の記事を執筆いただき、赤津氏にゲストエディタとして取りまとめていただいた。2つ目は、システムイノベーションセンター（SIC）の木村氏にゲストエディタをお願いし、デジタルイノベーションにおけるシステムイノベーションの特集として7件の解説を6名の方に執筆いただいた。どちらも大変充実した内容となり、データ科学とシステム科学という大きな科学技術の進展を、社会変革に関連させて解説いただくことができた。加えて、第10回横幹連合コンファレンスのトピックと木村賞の受賞報告、関連学会のイベント報告では、社会情報学会の大会報告を寄稿いただいた。そして、原著論文として、台湾企業の経営戦略に関する研究論文を掲載することができた。

現在の新型コロナ感染症の危機の中において、データ自体が存在しない感染予防策の策定では、システム科学としての数理モデルやシミュレーションモデルに基づく感染予測モデルが、各国政府の政策決定や国民生活に強烈なインパクトを与えたことは記憶に新しい。その後、医療関係者をはじめとする多くの方の尽力で、さまざまなデータが収集されてきており、データ科学のパワーが、感染経路の特定や混雑度、医療政策、抗ウイルス薬やワクチン開発などに大きな貢献を始めている。本号で企画した特集記事のテーマが、まさに現在の危機に対処するためのデータ科学とシステム科学に焦点を当てたことは、偶然ではないのかもしれない。今後まだまだ予断を許さない状況が続くと思われる。コロナ危機で始まった新常态に対して、横断型科学技術が社会に貢献できることの大きさを感じている。

2019年度会誌編集委員長 倉橋節也

【特定非営利活動法人 横断型基幹科学技術研究団体連合（横幹連合）】

□ 2020年度役員

会長	安岡 善文（東京大学名誉教授）	
副会長	椿 広計（統計数理研究所）	高木 真人（日本工学会）
理事	木村 忠正（電気通信大学）	櫻井成一郎（明治学院大学）
	田名部元成（横浜国立大学）	林 勲（関西大学）
	深尾 隆則（東京大学）	三上 喜貴（開志専門職大学）
	村上 存（東京大学）	横井 郁子（東邦大学）
	板倉 宏昭（産業技術大学院大学）	伊東 明彦（宇宙技術開発）
	岩澤誠一郎（名古屋商科大学）	倉橋 節也（筑波大学）
	佐藤 一弘（東洋製罐H D）	長沢 伸也（早稲田大学）
	長谷川恭子（立命館大学）	林 聖子（亜細亜大学）
	藤井 享（北見工業大学）	船橋 誠壽
	本多 敏（慶應義塾大学）	宮里 義彦（統計数理研究所）
監事	出口光一郎（東北大学）	田村 義保（統計数理研究所）

□ 2020年度会誌編集委員会

委員長	櫻井成一郎（明治学院大学）	
副委員長	岩澤誠一郎（名古屋商科大学）	
委員	倉橋 節也（筑波大学）	佐藤 一弘（東洋製罐H D）
	椿 広計（統計数理研究所）	林 聖子（亜細亜大学）
	藤井 享（北見工業大学）	青柳 秀紀（筑波大学）
	穴太 克則（芝浦工業大学）	大塚 敏之（京都大学）
	小平和一郎（アーネスト育成財団）	金子 勝一（山梨学院大学）
	玉置 久（神戸大学）	椿 美智子（電気通信大学）
	水野 毅（埼玉大学）	三宅 美博（東京工業大学）
	横山 清子（名古屋市立大学）	出口光一郎（東北大学）

■横幹技術協議会の主な活動実績 『横幹技術フォーラム』

横幹連合との共催で定期的開催している「横幹技術フォーラム」では、複合的視点を必要とする企業課題への技術情報を提供しております。

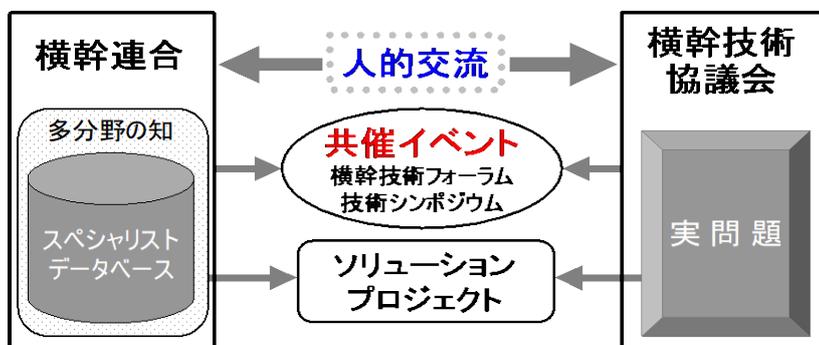
<過去のフォーラム実績>

- 第34回 東日本大震災からの復興支援現場における支援活動
～次世代に向けた日本の街づくりとして我々は何ができるのか～
- 第35回 エネルギーマネジメントの新しい局面～社会システムの構築段階を迎えて～
- 第36回 アート・デザイン・テクノロジー～近くて遠いその関係～
- 第37回 「未来学」の過去・現在・未来
- 第38回 サービス学の成立 ～サービス科学・サービス工学の発展を受けて～
- 第39回 社会システム論で社会を読み解く
- 第40回 社会デザインのためのエージェントベースシミュレーション
- 第41回 社会的課題解決のためのイノベーション～社会システムとしての街づくり～
- 第42回 数学と産業の協働、データサイエンティストの育成
～イノベーションの創出と促進に向けた先進的取組み～
- 第43回 経営高度化としての統合リスクマネジメント経営の考察
- 第44回 ロボット活用社会の新潮流
- 第45回 システムデザイン力を展望する
- 第46回 第6次産業への取り組み～複数システムの連携による価値構築～
- 第47回 4次産業革命に向けたサービス科学の役割とビジネス応用に向けた課題
- 第48回 人工知能によるシステム構想力・統合力の強化
～ものづくりプラス企業の実現に向かって～
- 第49回 ビジネスイノベーションが先導する第4次産業革命（IoT/インダストリアル4.0）の実現に向けた産・学・官の役割と課題とは
- 第50回 未来洞察（Foresight）活動の取り組みの現状とその活用
－科学技術融合時代の先取りを目指して－
- 第51回 ヘルスケア・サイエンスの取り組みと現状
－医療に頼らない健康管理のためのヘルスケア－
- 第52回 IoT・ビッグデータ・AI時代の企業間連携とプラットフォーム
－センシングデータ利活用の可能性と課題－
- 第53回 Society 5.0時代のヘルスケア（その1）
- 第54回 Society 5.0時代のヘルスケア（その2）
- 第55回 Society 5.0が実現するデータ駆動型まちづくり－展望と課題－
- 第56回 オープンイノベーション活動『豊洲の港から』

※過去のフォーラムプログラムはHP (<https://www.trasti.jp/about.html#forum>) でご覧いただけます

■企業の課題解決支援（プロジェクト活動）

企業が抱える実問題に対し、他分野の専門家が共同してプロジェクトを組みソリューションを追求するもので、さまざまな要素が絡み合う複雑な課題へアプローチする、新たな産学連携の仕組みとして注目されています。横幹技術協議会では、中核会員企業に初期のフィジビリティスタディ段階のサービスを提供しています。



統合知による産業力強化を推進



横断型基幹科学技術推進協議会

会長 桑原 洋

マクセルホールディングス(株)名誉相談役
元 内閣府総合科学技術会議議員

横断型基幹科学技術推進協議会（略称：横幹技術協議会）は、企業を会員として横幹科学技術の推進活動を行っています。

「学」を中心とする横幹連合と、「産」を主体とする横幹技術協議会は互いに緊密に連携しながら、横幹科学技術を推進し、産業活動に生かすためのさまざまな活動を行っています。横幹連合と横幹技術協議会は、車の両輪として、横幹科学技術の学としての深化と社会への活用に取り組んでいます。

（設立：2004年5月）

■参加会員（2020年6月現在）

- 【中核会員】
株式会社 日立製作所
- 【一般会員】
三菱重工業 株式会社

横断型基幹科学技術推進協議会

Transdisciplinary Science and Technology Initiative

TEL&FAX:03-6675-4076 URL: <https://www.trasti.jp/>